

# 令和 7 年度 東京都立晴海総合高等学校 学校経営計画

東京都立 晴海総合高等学校長  
佐藤 信孝

## 1 目指す学校像 大切なことに気がつける場所-----晴海総合」

### (1) 育成目標

遅くしなやかに。どこに行っても通用する高い倫理観をもつ人間の育成

### (2) 育成目標の達成に向けて

- ① 全教職員が総合学科高校のミッションを深く理解し、ワンチームとなり、3年間を通じたキャリア教育に注力する。
- ② 生徒は多岐にわたる選択科目群から「学び」を選択し取り組むことで、豊かな自己実現に向けて意欲的に取り組む。

### (3) 育成目標達成のための、スクールミッション（目指す生徒像）

- ① 十分な自己責任能力を備えた生徒
- ② 他者と協調して社会に貢献できる生徒
- ③ よりよい社会と幸福な人生の創り手となれる生徒

## 2 中期目標と方策

### (1) 進路・キャリア教育

【目標】組織的・系統的なキャリア教育と学習指導を一体化させることで、一人一人の生徒がより具体的な将来へのビジョンを持ち、自ら最も望む進路実現を目指す生徒を育成する。必要とされる基礎学力を高め、真の意味で多様な進路選択ができる学校を目指す。

【方策】3年間を通じて学ぶ「キャリア教育」「を充実させるため、外部機関との連携や外部人材の活用等を一層推進する。

### (2) 国際理解教育

【目標】グローバル社会への対応、学校の特色化として国際理解教育を推進し、引き続き海外研修を実施するとともに、積極的な異文化交流をさらに展開する。

【方策】① 各種メディアを活用し、諸外国における高等学校との交流を推進する。

② フランス ブルターニュ地方における高等学校との交流を中心とした研修旅行。

③ 地域連携として大使館関係者等との交流を図る。

### (3) 教科・学習指導

【目標】6つの系列（情報システム・国際ビジネス・語学コミュニケーション・芸術文化・自然科学・社会経済）の専門性を生かした学習を柱として、生徒の主体的な学習と学力の向上を推進する。

【方策】① 授業の時間を大切にするとともに、自宅学習を習慣化させる。

② 教科会を活性化させ、教科内や教科間での情報交換を活性化する。

(4) 生活指導・特別活動

【目標】生徒が主体的に学校行事・部活動等に取り組むことで、効果的に成果を上げるよう支援する。

【方策】① 人権教育や生活指導を軸に、学校生活全般において、規則・規律・マナー・倫理観・使命感を醸成する。

② 主権者教育を推進し、社会貢献と公共心の意識を涵養する。

(5) 教育相談

【目標】生徒が互いを尊敬・尊重し合い、互いに高め合う心の育成を図る。

【方策】① いじめや体罰の無い学校づくりに向け、諸調査等により、未然防止・早期発見・早期対応に努める。

② 教職員・保護者・地域との連携を密にし、安全・安心な学校づくりを推進する。

③ 教育相談体制を構築し、自殺予防等生命尊重や個別の支援教育を計画的に行う。

(6) 危機管理

【目標】生活・交通・災害における安全と服務事故の防止を徹底する

【方策】① 日頃より教員向けの服務事故防止研修を実施し、事故を無くす。

② 避難訓練や救命救急講習等の実施により、危機を回避する手法を身に着ける。

(7) 広報活動・募集対策

【目標】本校の特色を生かした個性的な発信により、多くの方からの好感度を向上させる。

【方策】① ホームページやインスタグラム及び作成動画の配信等を通じて、本校の特色ある教育活動や施設活用の様子を随時発信していく。

② 地域の中学校生徒・保護者に向けた学校 PR を積極的に行う。

(8) 学校経営・組織体制

【目標】全教職員が互いに良好な関係を築いて連携し、教科・分掌・経営企画室が組織的・横断的に機能しながら特色ある教育活動を実践・発信する。

【方策】① 各分掌主任・教科主任がミドルリーダーとして機能する組織を運営する。

② 職員室と経営企画室の良好な連携により、業務の円滑化を図る。

③ 業務内容の効率化を図ることで、ライフ・ワーク・バランスを促進する。

④ 学校運営連絡協議会等を活性化し、地域と連携しながら広く本校の学校運営について周知する。

### 3 今年度の取組目標と方策

#### 教育活動の目標と方策 ◆重点(数値)目標

(1) 進路・キャリア教育

① すべての教員が、総合学科におけるキャリア教育の在り方を十分に理解し、その手法について絶えず研鑽を積みながら、一人一人の生徒に対し、学習活動領域におけるあらゆる場面をとらえて実践指導を行う。

② 各教科間連携を密にし、生徒による課題研究の取組を多角的に支援する。

◆生徒のキャリア教育満足度90%

◆課題研究の成果を生かした総合型選抜入試の利用件数20件

(2) 国際理解教育

- ① 本校の施設・設備・人材を十全に活用し、晴海総合高等学校の総合学科としての特色が明確に認知される教育活動を展開する。
- ② 卒業生を中心とした有為の外部人材との連携を深め、海外関連の研修・講演会を設定する。
- ③ 海外学校間交流推進指定校として、学校独自のフランス海外研修を引き続き実施する。
- ④ 国際交流イベントに積極的に参加する。

◆国際交流イベントの実施及び参加件数3件（R6：0件）

- ⑤ 国際理解教育の一層の推進に向けプロジェクトチーム HSICI（Harumi Sogo International Cultural Immersion 晴海総合国際文化イマージョン）を継続し、本教育活動の所掌分掌である研究部のサポートを積極的に行う。

### （3）教科・学習指導

- ① 「逞しくしなやかに。どこに行っても通用する高い倫理観をもつ人間の育成」に向け、指導者として、どこに行っても通用する授業力の向上を目指す。
- ② 常に生徒の興味関心を喚起し、各教科の学習の中で主体的、対話的で深い学びを推進する。真の意味で幅広く進路選択ができるよう、基礎学力の充実に注力する。
- ③ 教員相互の授業参観をすべての教員が年間を通じて複数回行い、授業力を研鑽する。
- ④ デジタル技術を活用した教育活動を積極的に推進するための研修を実施し、全教員が効果的なオンライン授業のスキルを向上させる。

◆（英検2級 50名以上 英検準1級以上 3名 保育検定2級以上 10名）

◆全教科における教科指導で M365 活用実績 100%

### （4）生活指導・特別活動

- ① 基本的な生活習慣を確立し、社会人として自立した生徒の育成に取り組む。
- ② 規則・規律・マナー・倫理観についての指導を、すべての教職員が共通理解を持って取り組む。
- ③ 学校行事や部活動において創意工夫のある計画を立案し、充実した活動を実現できるよう指導する。
- ④ 他者との協働や帰属意識、互いに高めあう集団作りに重点をおいた指導を実践する。

◆部活動加入率85%（R5:85% R4:85% R3：87%）

### （5）教育相談

- ① すべての職員が協働して生徒の体力向上と心身の健康づくりを増進させる。
- ② 保健相談やカウンセリング体制を教職員・保護者に対して可視化し、柔軟で漏れのない相談体制を整備する。また、スクールカウンセラーとの連携を強化し、校内研修を活用しながら学校全体の教育相談力を向上させ、生命尊重教育をあらゆる機会をとらえて行い、自殺予防に組織的に取り組む。
- ③ 自殺予防に関する取組みを組織的に推進する。
- ④ 特別支援教育に関する情報・知識を全職員が共有し、適切な対応ができる体制を整備する。
- ⑤ アンケート調査等を実施し、校内でいじめや体罰を絶対に許さない風土を醸成する。

◆いじめ・体罰0件（R6:0件 R5:0件）

### （6）危機管理

- ① 日頃より教員向けのサービス事故防止研修を実施し、サービス事故をゼロにする。
- ② 安全・安心な学校であることに最大限の注意を払い学校を運営する。
- ③ 防災教育の充実や交通安全推進に力を入れ、危機を回避する手法を身に着ける。



### 1 生徒に達成させるもの

- ・必修科目である数学Ⅰ・数学Aの内容の十分に定着させ、理系大学進学への関心を高め2年次以降の選択科目の学習の土台を作る。
- ・2年次選択科目である数学Ⅱ・数学Bの理解を深め、理系大学進学に必要な基礎学力を十分に定着させる。

### 2 教員が達成するもの

- ・授業の工夫・家庭学習の充実を図り、基礎学力の確かな定着を目指す。
- ・基礎学力の定着・発展的な内容の学習・理系大学進学を目指した指導など様々なレベルに合わせた夏期講習を実施する。

## 【理科】

### 1 生徒に達成させるもの

・自然の事物・現象に関心を持ち、積極的に探究しようとする態度を身につける。また、そのために必要な知識、観察・実験等の技術を身につける。

そして、それらから得られた結果を科学的に分析、判断し、正しい結論を導き出す力を養う。

### 2 教科の教員が達成するもの

- ・定期的な課題設定による学習習慣の定着を目指す。
- ・定期考査前を中心に、学習フォローの場を設け、生徒の理解度向上を補助する。
- ・長期休業中の講習など、学力向上のための指導を行う。
- ・選択教科受講者を中心に、個別相談や進学相談に応じる。

## 【保健体育】

### 1 生徒に達成させるもの

・各種運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

・全学年での選択授業は、男女共修の授業を実施し生涯スポーツへつなげるため体格差や体力差があっても一緒に活動させ、お互いに協調性や思いやることの大切さを意識させる。

### 2 教科の教員が達成するもの

- ・体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進させる。また、男女共修授業では、コミュニケーションをとり体力差や能力差にかかわらず仲間と共に学ぶ体験により生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指す。

## 【芸術】

### 1 生徒に達成させるもの

- ・芸術Ⅰでは基礎的な技能と豊かな感性を育む。
- ・専門科目では、受検に対応できる力、通用する力を育む。

### 2 教員が達成するもの

- ・講習会を充実させる → 夏季休業中を利用して5日間程度の講習会を開催する。
- ・教員の資質向上を図る → 外部の研修会等に各自で積極的に参加し、教員自身の資質向上を図る。

## 【外国語】

### 1 生徒に達成させるもの

- ・卒業時に、15%以上の生徒が英検二級、40%以上の生徒が英検準二級レベルに到達する英語力を身につける。
- ・自学習に取り組ませ、学習習慣を定着させる。

〈そのために〉

必修科目において英語の4技能伸長を意識した授業を行う。

- ・夏期講習で英検対策講座を開講する。
- ・英検2次対策（面接練習）をJETも含めた全教員で実施する。

- ・課題を工夫して家庭学習等に取り組み、生徒の学習習慣定着を図る。

## 2. 教員が達成するもの

卒業時に、15%以上の生徒が英検二級、40%以上の生徒が英検準二級レベルに到達することができるように指導することができる

〈そのために〉

- ・OJTを通して、授業力や英語力の研鑽に励む。
- ・定期的な教科会を開催して授業内容や評価方法の情報共有などを図り、教材研究を深め授業力向上を目指す。

## 【家庭】

### 1 生徒に達成させるもの

- ・各家庭の日常生活や将来社会において役立つ知識・技能を身につけさせ、実践力を養う。
- ・成年年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、責任を自覚させるとともに、契約の重要性や消費者保護の仕組みを理解させる。
- ・保育技術検定合格レベルに到達する保育技術を身につけさせる。

### 2 教員が達成するもの

- ・教材研究・予備実習など自己研鑽を行い、専門性を高める。
- ・教科会等で授業や生徒について情報交換を行い、教科の専門を横断した共通理解をはかる。

## 【情報】

### 1 生徒に達成させるもの

- ・「情報Ⅰ」において、全員がプレゼンテーションを行うことができるようにする。
- ・Teams や、個人端末を使用し、主体的に情報技術や情報を活用できるようにする。
- ・将来にわたって使用する Office 系ソフトウェアの活用技術を身に付けさせる。
- ・主体的に情報技術や、情報を活用する能力を身に付けさせる。
- ・授業において、積極的に個人端末や Teams を使用させる。
- ・定期的に、授業観察を相互に行い、授業技術の向上を図る。

### 2 教員が達成するもの

- ・主体的に情報技術や、情報を活用する能力を身に付けさせる。
- ・授業において、積極的に個人端末や Teams を使用させる。
- ・定期的に、授業観察を相互に行い、授業技術の向上を図る。

## 【商業】

### 1 生徒に達成させるもの

・商業科の学習活動の様々な場面を自己のキャリアの視点で捉え、進路やその後の経済社会や様々な実務の場面で主体的に活動できる力を養う。

具体的には、ビジネスに関する課題に対して事例を取り上げて生徒に考察や議論ができること、各種検定試験合格に向けて志を持って学習へ取り組む姿勢、最後まであきらめない心を養いたい。

### 2 教員が達成するもの（具体的な数値目標）

- ・各種ビジネスコンテストやコンクールに25人以上応募する
- ・全国商業高等学校長協会簿記実務検定試験2級以上合格者15名以上
- ・全国商業高等学校長協会ビジネス文書実務検定試験2級以上合格者10名以上